

表 2-1 2021 年度モニタリング調査 検出状況一覧表（水質及び底質）

物質 調査 番号	調査対象物質	水質 (pg/L)		底質 (pg/g-dry)	
		範囲 (検出頻度)	平均値	範囲 (検出頻度)	平均値
[1]	総 PCB	nd~5,900 (45/47)	100	33~450,000 (60/60)	4,900
[2]	HCB	1.6~180 (47/47)	6.8	2.5~12,000 (60/60)	56
[3]	アルドリン				
[4]	ディルドリン				
[5]	エンドリン				
[6]	DDT 類				
	[6-1] <i>p,p'</i> -DDT	nd~190 (42/47)	2.6	3.8~17,000 (60/60)	110
	[6-2] <i>p,p'</i> -DDE	0.9~170 (47/47)	9.2	8.7~25,000 (60/60)	350
	[6-3] <i>p,p'</i> -DDD	0.9~87 (47/47)	6.3	1.9~8,600 (60/60)	210
	[6-4] <i>o,p'</i> -DDT	nd~33 (30/47)	tr(0.6)	nd~3,200 (58/60)	19
	[6-5] <i>o,p'</i> -DDE	nd~92 (32/47)	tr(0.5)	nd~16,000 (59/60)	19
	[6-6] <i>o,p'</i> -DDD	tr(0.3)~54 (47/47)	3.5	0.4~2,500 (60/60)	64
[7]	クロルデン類				
	[7-1] <i>cis</i> -クロルデン				
	[7-2] <i>trans</i> -クロルデン				
	[7-3] オキシクロルデン				
	[7-4] <i>cis</i> -ノナクロル				
	[7-5] <i>trans</i> -ノナクロル				
[8]	ヘプタクロル類				
	[8-1] ヘプタクロル				
	[8-2] <i>cis</i> -ヘプタクロルエポキシド				
	[8-3] <i>trans</i> -ヘプタクロルエポキシド				
[9]	トキサフェン類				
	[9-1] Parlar-26				
	[9-2] Parlar-50				
	[9-3] Parlar-62				
[10]	マイレックス				
[11]	HCH 類				
	[11-1] α -HCH				
	[11-2] β -HCH				
	[11-3] γ -HCH (別名: リンデン)				
	[11-4] δ -HCH				
[12]	クロルデコン				
[13]	ヘキサブロモビフェニル類				

(注1) 「平均値」は幾何平均値を意味する。nd (検出下限値未滿) は検出下限値の1/2として算出した。

(注2) ■は調査対象外であることを意味する。

(注3) tr(X)は、Xの値が定量下限値未滿、検出下限値以上であることを意味する。

物質 調査 番号	調査対象物質	水質 (pg/L)		底質 (pg/g-dry)	
		範囲 (検出頻度)	平均値	範囲 (検出頻度)	平均値
[14]	ポリブロモジフェニルエーテル類 (臭素数が4から10までのもの)				
	[14-1] テトラブロモジフェニルエーテル類				
	[14-2] ペンタブロモジフェニルエーテル類				
	[14-3] ヘキサブロモジフェニルエーテル類				
	[14-4] ヘプタブロモジフェニルエーテル類				
	[14-5] オクタブロモジフェニルエーテル類				
	[14-6] ノナブロモジフェニルエーテル類				
	[14-7] デカブロモジフェニルエーテル				
[15]	ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)	tr(30)~3,700 (47/47)	330	tr(5)~620 (60/60)	52
[16]	ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOA)	230~23,000 (47/47)	1,100	nd~260 (58/60)	24
[17]	ペンタクロロベンゼン	1.2~140 (47/47)	4.8	tr(0.8)~2,300 (60/60)	28
[18]	エンドスルファン類				
	[18-1] α -エンドスルファン	nd~580 (17/47)	nd	nd~53 (50/60)	1.7
	[18-2] β -エンドスルファン	nd~250 (11/47)	nd	nd~57 (12/60)	nd
[19]	1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン類				
	[19-1] α -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン				
	[19-2] β -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン				
	[19-3] γ -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン				
	[19-4] δ -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン				
	[19-5] ϵ -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン				
[20]	総ポリ塩化ナフタレン	nd~170 (29/47)	tr(9)	nd~14,000 (59/60)	400
[21]	ヘキサクロロブタ-1,3-ジエン	nd (0/47)	nd	nd~170 (3/60)	nd
[22]	ペンタクロロフェノール並びにその塩及びエステル類				
	[22-1] ペンタクロロフェノール				
	[22-2] ペンタクロロアニソール				
[23]	短鎖塩素化パラフィン類				
	[23-1] 塩素化デカン類	nd~1,100 (42/47)	tr(500)	nd~4,300 (30/60)	tr(400)
	[23-2] 塩素化ウンデカン類	nd~1,200 (26/47)	tr(300)	nd~7,000 (28/60)	tr(500)
	[23-3] 塩素化ドデカン類	nd~4,900 (13/47)	nd	nd~12,000 (44/60)	tr(900)
	[23-4] 塩素化トリデカン類	nd~8,600 (7/47)	nd	nd~31,000 (47/60)	1,200
[24]	ジコホル				
[25]	ペルフルオロヘキサンスルホン酸 (PFHxS)	nd~2,300 (44/47)	160	nd~15 (19/60)	nd

(注1) 「平均値」は幾何平均値を意味する。nd (検出下限値未満)は検出下限値の1/2として算出した。

(注2) は調査対象外であることを意味する。

(注3) tr(X)は、Xの値が定量下限値未満、検出下限値以上であることを意味する。

(注4) 短鎖塩素化パラフィン類は、塩素数が5から9までのものを測定の対象とした。

また、短鎖塩素化パラフィン類の結果は、測定法に様々な課題がある中での試行において得られた暫定的な値である。

表 2-2 2021 年度モニタリング調査 検出状況一覧表（生物及び大気）

物質 調査 番号	調査対象物質	生物 (pg/g-wet)						大気 (pg/m ³)	
		貝類		魚類		鳥類		温暖期	
		範囲 (検出頻度)	平均値	範囲 (検出頻度)	平均値	範囲 (検出頻度)	平均値	範囲 (検出頻度)	平均値
[1]	総 PCB	490~7,200 (3/3)	1,500	800~ 130,000 (18/18)	13,000	110,000~ 210,000 (2/2)	150,000	17~340 (35/35)	71
[2]	HCB	tr(2)~26 (3/3)	11	24~950 (18/18)	160	2,800~4,200 (2/2)	3,400	66~140 (35/35)	96
[3]	アルドリン								
[4]	ディルドリン								
[5]	エンドリン								
[6]	DDT 類								
	[6-1] <i>p,p'</i> -DDT	28~420 (3/3)	70	nd~1,500 (17/18)	120	29~120 (2/2)	59	0.16~6.3 (35/35)	0.80
	[6-2] <i>p,p'</i> -DDE	88~960 (3/3)	240	230~8,500 (18/18)	2,000	64,000~ 100,000 (2/2)	80,000	0.43~21 (35/35)	1.6
	[6-3] <i>p,p'</i> -DDD	5.2~840 (3/3)	69	26~2,700 (18/18)	320	120~140 (2/2)	130	nd~0.18 (18/35)	tr(0.05)
	[6-4] <i>o,p'</i> -DDT	8~93 (3/3)	20	tr(1)~70 (18/18)	24	tr(1)~3 (2/2)	tr(2)	0.11~3.0 (35/35)	0.50
	[6-5] <i>o,p'</i> -DDE	tr(2)~110 (3/3)	12	nd~1,600 (17/18)	32	tr(1) (2/2)	tr(1)	nd~0.55 (34/35)	0.17
[6-6] <i>o,p'</i> -DDD	tr(2)~760 (3/3)	33	nd~380 (17/18)	39	tr(4)~8 (2/2)	6	nd~0.16 (27/35)	tr(0.05)	
[7]	クロルデン類								
	[7-1] <i>cis</i> -クロルデン								
	[7-2] <i>trans</i> -クロルデン								
	[7-3] オキシクロルデン								
	[7-4] <i>cis</i> -ノナクロル								
[7-5] <i>trans</i> -ノナクロル									
[8]	ヘプタクロル類								
	[8-1] ヘプタクロル								
	[8-2] <i>cis</i> -ヘプタクロルエポ キシド								
[8-3] <i>trans</i> -ヘプタクロルエ ポキシド									
[9]	トキサフェン類								
	[9-1] Parlar-26								
	[9-2] Parlar-50								
[9-3] Parlar-62									
[10]	マイレックス								
[11]	HCH 類								
	[11-1] α -HCH								
	[11-2] β -HCH								
	[11-3] γ -HCH (別名: リン デン)								
[11-4] δ -HCH									
[12]	クロルデコン								
[13]	ヘキサブロモビフェニル類								

(注1) 「平均値」は幾何平均値を意味する。nd (検出下限値未満) は検出下限値の1/2として算出した。

(注2) は調査対象外であることを意味する。

(注3) tr(X)は、Xの値が定量下限値未満、検出下限値以上であることを意味する。

物質 調査 番号	調査対象物質	生物 (pg/g-wet)						大気 (pg/m ³)	
		貝類		魚類		鳥類		温暖期	
		範囲 (検出頻度)	平均値	範囲 (検出頻度)	平均値	範囲 (検出頻度)	平均値	範囲 (検出頻度)	平均値
[14]	ポリブロモジフェニルエーテル類 (臭素数が4から10までのもの)								
	[14-1] テトラブロモジフェニルエーテル類								
	[14-2] ペンタブロモジフェニルエーテル類								
	[14-3] ヘキサブロモジフェニルエーテル類								
	[14-4] ヘプタブロモジフェニルエーテル類								
	[14-5] オクタブロモジフェニルエーテル類								
	[14-6] ノナブロモジフェニルエーテル類								
[14-7] デカブロモジフェニルエーテル									
[15]	ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)	tr(2)~250 (3/3)	14	tr(2)~4,500 (18/18)	81	590~15,000 (2/2)	3,000	0.70~6.5 (35/35)	2.8
[16]	ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOA)	nd~16 (2/3)	6	nd~40 (14/18)	tr(4)	46~410 (2/2)	140	2.6~42 (35/35)	8.3
[17]	ペンタクロロベンゼン	4~15 (3/3)	9	nd~150 (16/18)	21	300~470 (2/2)	380	36~130 (35/35)	61
[18]	エンドスルファン類								
	[18-1] α-エンドスルファン	nd (0/3)	nd	nd (0/18)	nd	nd (0/2)	nd	0.4~6.0 (35/35)	1.4
[18-2] β-エンドスルファン	nd (0/3)	nd	nd (0/18)	nd	nd (0/2)	nd	nd~tr(0.5) (5/35)	nd	
[19]	1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン類								
	[19-1] α-1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン								
	[19-2] β-1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン								
	[19-3] γ-1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン								
	[19-4] δ-1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン								
	[19-5] ε-1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロドデカン								
[20]	総ポリ塩化ナフタレン	nd~600 (2/3)	62	tr(14)~360 (18/18)	66	250~330 (2/2)	290	5.3~1,000 (35/35)	80
[21]	ヘキサクロブタ-1,3-ジエン	nd~tr(5) (1/3)	nd	nd~24 (14/18)	tr(7)	nd (0/2)	nd	1,400~11,000 (35/35)	2,400
[22]	ペンタクロロフェノール並びにその塩及びエステル類								
	[22-1] ペンタクロロフェノール								
[22-2] ペンタクロロアニソール									
[23]	短鎖塩素化パラフィン類								
	[23-1] 塩素化デカン類	nd~tr(500) (2/3)	tr(200)	nd~700 (4/18)	nd	tr(300)~600 (2/2)	tr(400)	tr(100)~900 (35/35)	300
	[23-2] 塩素化ウンデカン類	nd~800 (1/3)	nd	nd~1,000 (4/18)	nd	tr(400)~2,300 (2/2)	1,000	nd~850 (34/35)	290
	[23-3] 塩素化ドデカン類	nd~400 (1/3)	nd	nd~tr(300) (3/18)	nd	nd~1,000 (1/2)	tr(300)	nd~370 (27/35)	tr(110)
[23-4] 塩素化トリデカン類	nd~900 (1/3)	tr(200)	nd~7,000 (2/18)	nd	500~900 (2/2)	700	nd~tr(200) (26/35)	nd	
[24]	ジコホル								
[25]	ペルフルオロヘキサンスルホン酸 (PFHxS)	nd~tr(3) (1/3)	nd	nd~16 (7/18)	tr(2)	10~40 (2/2)	20	0.46~6.6 (35/35)	2.2

(注1) 「平均値」は幾何平均値を意味する。nd (検出下限値未達) は検出下限値の1/2として算出した。

(注2) ■は調査対象外であることを意味する。

(注3) tr(X)は、Xの値が定量下限値未達、検出下限値以上であることを意味する。

(注4) ヘキサクロブタ-1,3-ジエンの大気については3検体/地点の測定を行っており、範囲は全ての検体における最小値から最大値の範囲で示し、検出頻度は全測定地点に対して検出のあった地点数を示した。

(注5) 短鎖塩素化パラフィン類は、生物においては塩素数が5から9までのものを、大気においては塩素数が4から8までのものをそれぞれ測定の対象とした。

また、短鎖塩素化パラフィン類の結果は、測定法に様々な課題がある中での試行において得られた暫定的な値である。

表3 2021年度モニタリング調査 定量〔検出〕下限値一覧表

物質調査番号	調査対象物質	水質 (pg/L)	底質 (pg/g-dry)	生物 (pg/g-wet)	大気 (pg/m ³)
[1]	総 PCB※	16 [6]	7.8 [2.9]	33 [10]	2.4 [0.8]
[2]	HCB	1.0 [0.4]	1.3 [0.5]	3 [1]	0.11 [0.04]
[3]	アルドリン				
[4]	ディルドリン				
[5]	エンドリン				
[6]	DDT類				
	[6-1] <i>p,p'</i> -DDT	0.8 [0.3]	0.4 [0.2]	6 [2]	0.15 [0.06]
	[6-2] <i>p,p'</i> -DDE	0.3 [0.1]	0.7 [0.3]	3 [1]	0.13 [0.05]
	[6-3] <i>p,p'</i> -DDD	0.8 [0.3]	0.5 [0.2]	2.2 [0.9]	0.13 [0.05]
	[6-4] <i>o,p'</i> -DDT	0.9 [0.3]	0.4 [0.2]	3 [1]	0.08 [0.03]
	[6-5] <i>o,p'</i> -DDE	0.6 [0.2]	0.5 [0.2]	3 [1]	0.10 [0.04]
	[6-6] <i>o,p'</i> -DDD	0.5 [0.2]	0.4 [0.2]	5 [2]	0.10 [0.04]
[7]	クロルデン類				
	[7-1] <i>cis</i> -クロルデン				
	[7-2] <i>trans</i> -クロルデン				
	[7-3] オキソクロルデン				
	[7-4] <i>cis</i> -ノナクロル				
	[7-5] <i>trans</i> -ノナクロル				
[8]	ヘプタクロル類				
	[8-1] ヘプタクロル				
	[8-2] <i>cis</i> -ヘプタクロルエポキシド				
	[8-3] <i>trans</i> -ヘプタクロルエポキシド				
[9]	トキサフェン類				
	[9-1] Parlar-26				
	[9-2] Parlar-50				
	[9-3] Parlar-62				
[10]	マイレックス				
[11]	HCH類				
	[11-1] α -HCH				
	[11-2] β -HCH				
	[11-3] γ -HCH (別名: リンデン)				
	[11-4] δ -HCH				
[12]	クロルデコン				
[13]	ヘキサプロモビフェニル類				

(注1) 上段は定量下限値、下段は検出下限値。

(注2) ※は同族体又は該当物質ごとの定量〔検出〕下限値の合計とした。

(注3) 生物の定量下限値及び検出下限値は、貝類、魚類及び鳥類で共通であった。

(注4) ■は調査対象外であることを意味する。

物質 調査 番号	調査対象物質	水質 (pg/L)	底質 (pg/g-dry)	生物 (pg/g-wet)	大気 (pg/m ³)
[14]	ポリブロモジフェニルエーテル類 (臭素数が4から10までのもの)				
	[14-1] テトラブロモジフェニルエーテル類				
	[14-2] ペンタブロモジフェニルエーテル類				
	[14-3] ヘキサブロモジフェニルエーテル類				
	[14-4] ヘプタブロモジフェニルエーテル類				
	[14-5] オクタブロモジフェニルエーテル類				
	[14-6] ノナブロモジフェニルエーテル類				
	[14-7] デカブロモジフェニルエーテル				
[15]	ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)	80 [30]	6 [3]	5 [2]	0.18 [0.07]
[16]	ペルフルオロオクタノ酸 (PFOA)	90 [40]	9 [4]	6 [2]	0.7 [0.3]
[17]	ペンタクロロベンゼン	1.1 [0.4]	0.9 [0.3]	4 [1]	0.13 [0.05]
[18]	エンドスルファン類				
	[18-1] α -エンドスルファン	90 [40]	1.4 [0.6]	60 [20]	0.4 [0.2]
	[18-2] β -エンドスルファン	30 [10]	2.2 [0.9]	18 [6]	0.7 [0.3]
[19]	1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン類				
	[19-1] α -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン				
	[19-2] β -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン				
	[19-3] γ -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン				
	[19-4] δ -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン				
	[19-5] ϵ -1,2,5,6,9,10-ヘキサブロモシクロデカン				
[20]	総ポリ塩化ナフタレン※	15 [6]	9.7 [3.6]	37 [13]	0.7 [0.3]
[21]	ヘキサクロロブタ-1,3-ジエン	180 [70]	30 [10]	14 [5]	40 [20]
[22]	ペンタクロロフェノール並びにその塩及びエステル類				
	[22-1] ペンタクロロフェノール				
	[22-2] ペンタクロロアニソール				
[23]	短鎖塩素化パラフィン類				
	[23-1] 塩素化デカン類	700 [300]	800 [300]	600 [200]	300 [100]
	[23-2] 塩素化ウンデカン類	900 [300]	1,200 [400]	800 [300]	210 [80]
	[23-3] 塩素化ドデカン類	1,200 [500]	1,000 [400]	400 [200]	220 [80]
	[23-4] 塩素化トリデカン類	2,000 [800]	1,000 [400]	500 [200]	300 [100]
[24]	ジコホル				
[25]	ペルフルオロヘキサンスルホン酸 (PFHxS)	70 [30]	6 [3]	5 [2]	0.18 [0.07]

(注1) 上段は定量下限値、下段は検出下限値。

(注2) ※は同族体又は該当物質ごとの定量[検出]下限値の合計とした。

(注3) 生物の定量下限値及び検出下限値は、貝類、魚類及び鳥類で共通であった。

(注4) ■は調査対象外であることを意味する。